

天童市シルバー てんどう

2015 第47号

平成27年9月1日発行

編集発行／

公益社団法人天童市シルバー人材センター

〒994-0013 山形県天童市老野森二丁目6番3号

天童市総合福祉センター2階

電話 (023) 654-7388 FAX (023) 652-0213

ホームページ <http://webc.sjc.ne.jp/tendo/>

メールアドレス tendo@sjc.ne.jp



基礎から学びました

6月5日、寒河江市にある県園芸試験場で「サクランボ管理作業スキルアップ講習会」が開催され、当センターより12名の会員が参加しました。

脚立の安全な立て方や、葉摘み・収穫の仕方をくわしく学び、農家での就業に活かしました。



キュウリ漬けもおいしかったよ! 笹巻きづくり

小学生に好評の「みどりのスクール」が7月31日開校。子育て支援事業委員の会員が先生になり、18名の児童と一緒に笹巻きを作りました。



ゆで上がった笹巻きをみんなで「実食」! 先生が漬けたキュウリも大好評でした。



目次

■ 理事長あいさつ	2	■ おしらせ・募集	6
■ 定時総会・会費改定	3	■ [新連載] わが町探訪	7
■ 会員のたより	4	■ 会員拡大・就業拡大	8

安全就業スローガン

天童市シルバー人材センター

検索

安全は 基本動作の積重ね あわてずあせらず しっかり確認



平成26年度を顧みますと、会員数と受託件数が若干減少したものの、契約金額が5年連続で前年度を上回り、過去最高の就業実績となりました。これも、会員皆様の努力の賜物と感謝申し上げます。

また、昨年度は、大変残念なことに事故が増加いたしました。今年度は、「安全は、すべ



会員一人ひとりが地域に密着

理事長 菅野 洋一

てに優先する。」を念頭に、会員が協力しながら就業にあたり、事故防止に取り組んでくださるようお願いいたします。

現在、急速に高齢化が進む中で、就業人口の減少や若者の都市への集中等により、地方の高齢化が一段と進んでおります。当市においても、シルバー人材センターに入会できる60歳以上の方が3割を超えております。そのうち600名ほどの方々がシルバー会員であることは、とても頼もしいことと思っております。

高齢者のみの世帯が多くなり、また、今年4月の介護保険法改正により、シルバーが担う高齢者の家事援助・生活支援が増加することが予想される、私達の役割が更に重要になるものと考えております。

シルバー事業は、高齢者が

健康で安心して働くことで生きがいを求め、地域社会に貢献することを目的としております。この目的を達成するために、行政の支援も必要であり、行政とシルバーが連携しながら事業を推進していくことが、大事な課題であると考えております。

このようにシルバーを取り巻く環境は、依然厳しいものがあります。この難局を乗り越え、私達の就業機会を確保拡大するためには、シルバー事業の原点である「自主・自立、共働・共助」の基本理念に立ち返り、会員一人ひとりが自ら行動する「一会員、一就業先開拓」、「ひとり一会員の獲得」を目標にしていきたいと思っております。

最近、多くの市民の方々がシルバーに関心を寄せております。その期待に応えるよう、安全で安心、そして信頼されるシルバーを築いていくことが私達会員の務めであり



事務所に掲示してある基本理念
尾形昌幸会員 書

終わりに、市民の皆様、企業様には、変わらぬご理解ご協力をお願いいたします。会員の皆様には、経験と知識を就業や社会参加活動に存分に発揮していただきたいと思っております。

これから暑い時季に入ります。しかし、この暑い時季がシルバーの繁忙期でもあります。会員の皆様には、健康管理・安全就業に心がけていただき、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

(定時総会あいさつより)

平成27年度 定時総会

5月29日(金)、市長を始めとするご来賓をお迎えし、市民プラザで開催されました。

理事長あいさつ、来賓ご祝辞は、近年の厳しい社会状況を反映するも、建設的な激励を含んだものでした。

議長選出に続き議事に入りました。最初の監事監査報告は、微細にわたる時間を要し



たものでした。

報告事項は、26年度の収支補正予算と事業について、及び27年度の事業計画と収支予算について。議案は、26年度決算書類の承認について、及び会費規程の一部改正について。

それぞれ、多岐にわたる前向きな質疑応答があった後、全ての事項が承認されました。引き続き行なわれた「もみじ会」定期総会の議案もすべて承認され、めでたく閉会しました。



会費規程が一部改正

これまでは、年度の途中で入会しても1年分の会費をいただいていた。

このたびの定時総会で会費の見直しを行ない、今後は、10月以降に新たに入会する方の会費を減額し、会員拡大を図ることになりました。

昨年度までに入会された方は、減額対象になりませんので、ご理解をお願いします。新しい会費額は、次のとおりです。

●新規入会の方の初年度会費

入会月	法人会費	もみじ会費	合 計
4月～9月	3,500円	500円	4,000円
10月～12月	2,500円	500円	3,000円
1月～3月	1,500円	500円	2,000円

●継続会員の年会費 (変更ありません。)

法人会費	もみじ会費	合 計
3,000円	500円	3,500円



シルバー夏まつり

会員互助会もみじ会主催の「夏まつり」が、7月28日(火)盛大に開催されました。

猛暑が続いていましたが、夕方、突然の雨。

ワークプラザ室内に会場を移し、冷たい生ビールで乾杯!もみじ会が用意した、キュウリ漬け、枝豆、焼き鳥などに舌鼓。オードブルもボリューム満点!

次第に雨が上がり、屋外で涼風を感じながら、グラスとマイク片手に会員同士の交流を深めました。

もみじ会役員の皆様、企画から後片付けまで、お疲れさまでした。



会員のたより

家庭の掃除を通じて

山口班 伊藤 けい子

シルバーに入会し、家庭内掃除の仕事をさせていただいてから、まもなく3年になるうとしております。

最初は、何から始めたらよいかわからず、依頼主様にやり方や順序を教わりながらなんとか掃除をなし終えて、ホッとしていたことを思い出します。

今では、その家庭のやり方や望んでいることも理解でき、終わったあとの談笑の中で、「きれいになってありがとう」という言葉を聞くと、なんとか認めてもらえた、お役に立てたという気持ちで充実感が湧いてきます。

依頼主様とも心が通じるようになり、本当にこの仕事をやれてよかったと思います。

これもシルバーに入会してからこそ味わえるものだと、心から感謝しています。ありがとうございます。

めぐり逢えて

糠塚班 佐々木 ふじ子

昨年10月に入会。子育て支援、家事援助の講習会等に参加させていただきました。

天童市に転入して間もない私にとって、このご縁でめぐり逢った方々に、アドバイスはもちろん、旅行やランチ等に楽しみをもらっています。心強い良き友にめぐり逢えたことに感謝です。

1月より就業しております。決まるまでご配慮いただいたので、恥じる事のないように、仕事に取り組みたいと思っています。

山形の人情あふれる人達、



天童市グラウンドゴルフ場の桜（撮影 那須春男会員）

「くだもの王国」さくらんぼ、ラ・フランスはもとより、すいか、メロン、りんご、桃、ぶどう、たくさん四季折々を堪能できそうです。

先が見えない人生、不安で一杯だけどワクワクもします。文章にならない文面、認知症予防と信じ綴りました。明日はどんな一日でしょう。

良い一日を！

1件の事故もなく 安全・適正就業強化月間終了

7月1日から31日まで、シルバー安全月間でした。

安全・適正就業委員会は、就業現場のパトロールを2回実施し、会員に事故の防止と熱中症予防をお願いしました。

月間中を含めて今年度は、1件の事故も発生しておりませんが、熱中症とみられる症状で仕事を早退した方が数名ありました。

まだまだ猛暑が続きますので、水分と塩分をしっかりと補給し、万全の体調で就業するようお願いいたします。



仕事にたずさわってきた 私の考え方

温泉班 村形 カツ子

私は、仕事について、いつも考えています。

パートで18年間働いてきました。それも野菜の仕込みでした。包丁を使う仕事で、家庭のものと違い大きくて長くて、とてもしんどい、私は、社員の人と一緒に働いて思いました。

いくらがんばってもまだまだ追いつけない。自分なりに考えて、帰ってから反省したり、少しでも社員に近づくために何か良い方法がないか、思いを巡らせました。それでも何度か失敗し、今度こそと心に誓い、なんとか勤めてきました。

次に考えたことが、私と同じパートの女のひととがんばりたいということ。同じ職場の3人とコミュニケーションを深め、一人一人の性格を私なりに心にとめて、仕事に邁進

しました。非常に良かったです。今でもたびたび逢って話をし、良い関係です。

私は、どんな立場でも仲良くできます。これからも、社会で働くことができるようにがんばりたいと思います。年は老いてゆく、でも体は若く、そう思います。



私と肘折温泉 ほたる火コンサート

久野本1班 三浦 國昭

5月連休から始まる山菜採りには、今年は残念ながら1

回も行っていないませんでした。肘折には、20年前ほど前から、年に3回から5回位行っていました。

ウド、クワダイ、ミズ、イワガラ、コゴミ、ウルイ等あらゆる山菜をリュック一杯採ります。当然、いつもタイミングが良いとは限りませんが、ここで紹介したいのは、日本の「棚田百選」にも選ばれているイベントのことです。

ペットボトルを利用して中にローソクを入れ、住民総出で1200本ほど灯し、田んぼのあぜ道に竹を差し込み、ほたる火に見せて、夕方6時から幻想的なほたる火コンサートの開演のシーンとなるのです。胸が熱くなる瞬間です。

世界を代表する大沢聡グループが東京より来演、やさしく響き渡るオカリナ演奏を披露。それはそれは見事なものです。大蔵村上げての一大イベントです。

白装束を着た旅館の社長達

お越しくささい 就業相談日

「仕事来ない。」 「今、どんな仕事があるのか？」
「もう少し働きたい。」 「希望する職種が変わった。」

このような方は、ぜひ相談日にお越しくささい。
就業調整委員が親身になって対応します。

開催日程

●と き

9月24日(木)・10月22日(木)

11月26日(木)・12月24日(木)

午前10時から 正午まで

●ところ 当センター事務室



がほら貝を吹き、まるで映画のワンシーンです。

山登りや古道に親しむ

高橋本村班 浅井 紀夫

私は、40代頃から山登りを楽しんできましたが、年を重ねるにつれ、近くの身近な山へと変わってきました。

中でも、天童高原や面白山高原駅から登る面白山は、これまで四季をとおして何度登ったのか数えきれないほどです。



面白山山頂より御所山を望む（撮影 浅井紀夫会員）

特に、積雪期の晴れた日の山頂からの山々の眺めは、県内随一であるかもしれません。朝日連峰を始めとし、月山、葉山、鳥海、神室連峰、黒伏、御所山等々、真白に輝くばかりで、時の経つのを忘れてしまいうそうです。

このほか、仙台と山形を繋いだ関山越えの古道の道跡を、単独で10数年前に探し出してあります。

一つは、江戸時代の関山街道「嶺渡りの道」です。関山と仙台側の関係者の手により整備が進められており、4時間ほどの山歩きで楽しむことができるようになりました。

もう一つは、関山越えの馬車道の先駆けとして、明治10年に羽前の国猪野沢から陸前国新川まで開かれた「小田新道」です。道跡は、崩れたり、藪に被われてはいますが、相当の経験者なら、今でも時期を選びながら歩くことができます。

これからも、山登りに関心

のある方々と交流しながら楽しんでいきたいと思っています。

天童に40年間暮らして

老野森班 東海林 充子

今、テレビでは、国内外の旅番組が盛りだくさん放送されています。そこで気になり始めたのが、私が住んでいる天童の町は、どのような所なのだろうか、ということでした。ちょうどそんな時、ガイドのボランティアをやってみないかと、声をかけてくださる方がいて引き受けました。

他県よりお越しになった方が興味のある場所を、希望する交通手段で、限られた時間内に案内することは、少々のが念はわかつているにしても、なかなか大変なことでした。それぞれの場所には歴史があり、理解して人に伝えることは勉強しかありません。

びっくりしながら楽しみながら、先輩の指導を受けながらがんばりたいと思っています。

お詫び・原稿募集

今回多くの寄稿があり、掲載できなかった方にお詫び申し上げます。次回以降に掲載させていただきます。ご了承ください。

会員のたより・写真・川柳等を随時受け付けますので、お気軽に事務局までお寄せください。

おしらせ・募集

シルバー事業普及啓発促進月間

○とき 10月1日(木)～31日(土)

シルバーの日ボランティア活動

○とき 10月17日(土)

○ところ 天童市役所ほか

○内容 草取り・清掃活動

※9月に案内を送付します。

地域班活動

各地域班主催でボランティアや班会議を行います。班長より案内が届いたら、進んで参加しましょう。

シニアワークプログラム地域事業

55歳以上の求職者を対象とした無料の講習会です。

○パソコン 9月 東根市

○子育て応援 10月 河北町

○スパー業務 11月 中山町

○問合せ 県シルバー連合会

12月 寒河江市

☎023-626-1356



落合橋より水管橋と月山を望む

◆寺津地区は、寺津と藤内新田の2集落の集合体です。当地は、天童市の最西南に位置し、世帯数は447戸、人口は1640名の閑かで静かなベッドタウンです。昔は最上川を利用した舟運で栄えた港町で、県内では比較的大きな河岸で、今も地名や屋号で結構通じています。

元の社寺にも立派な石碑があります。

このように古代から今日まで、親から子へ、子から孫へと滴々受け継がれてきた文化遺産は、地域的にも高い水準にあると思います。曹洞宗法体寺には天童市指定の有形文化財があるほか、県指定の文化財を護り伝えているお宅もあり、寺津地区の貴重な財産です。

◆平成10年から10年の歳月をかけて、須川改修事業が国土交通省直轄事業として実施され、住み慣れた30軒のお宅が余儀なく移転しました。

この改修で須川にも32の橋が架けられて最上川に合流していますが、人が往来する橋としては最後の橋「落合橋」は70m延伸され、全長231mのバランスのとれた太鼓型の橋となり、一番高いところから四囲の街並と西方の月山・朝日や東方の蔵王・奥羽の山並みなど、残雪輝く眺望は身も

わが町探訪 第一回 寺津地区

今号から「わが町探訪」をスタートします。
市内の名所・旧跡、地域の話題などを紹介します。

心も洗われるような最高のビューポイントです。

◆8月15日、大相撲天童王将場所に大勢の力士が来童しましたが、江戸時代に角界で活躍した寺津出身の力士「大関・源氏山」をご承知でしょうか。当時の角界には横綱制度がなく、最高位の大関まで登りつめ活躍した力士です。

沢山の白鳥が飛来する寺津沼のほとりに建つ寺津資料館と並んで、源氏山が生誕してから215年になるのを期して銅像を建立し、平成13年12月15日、先代の佐渡ヶ嶽親方と同じ一門の琴乃若たちの参列を得て、除幕式を行ったのでした。

◆寺津地区の東側には550ヘクタール余りに及ぶ大水田が広がり、寺津の郷、高嶺の郷、蔵増の郷に住む三郷の先人たちが協力しい圃場整備と良質・潤沢な水量を確保するために組織化されているのが三郷堰土地改良区で、多年にわたる

業績が認められ全国表彰も受けています。

まもなく水田は黄金色に輝き、収穫の時期を迎えます。

♪おまえ来るなら

寺津において

三郷堰は米の郷

西も東も山また山で

……古老たちのうた声が聞こえてくるようです。

※このコーナーの執筆にあたり、寺津第一区継続事業顧問の高橋庸太郎氏のご協力をいただきました。

(広報委員 大木健)



会員を募集しています ～入会説明会にどうぞ～

- ★天童市内にお住まいの**原則60歳以上の方**で、健康で働く意欲がありセンターの趣旨に賛同していただける方なら、どなたでも入会できます。
- ★入会説明会に参加し、入会申込書に記入していただきます。理事会で入会を承認後、入会決定通知を送付します。入会手続きの日に、会費を納めていただきます。
- ★会員の働き方には、「**請負・委任**」と「**一般労働者派遣**」があります。いずれも臨時的就業かつ短期的又は軽易な就業（月10日程度又は週20時間程度）です。
- ★入会しても、すぐに就業できるとは限りません。センターは、就業した対価として「配分金」を支払いますが、収入を保障することはできません。
- ★請負・委任の場合、センター又は発注者と雇用関係を持ちませんので、会員が協力し合って責任を持って業務を履行・完了していただきます。派遣の場合は、派遣先の指揮命令に従い働いていただきます。

入会説明会

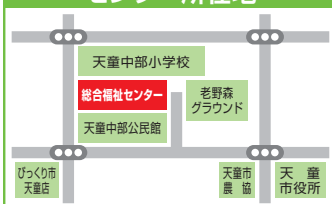
と き 9月15日(火)
10月15日(木)
11月17日(火)
12月15日(火)
午前10時～
ところ 市総合福祉センター

会 費

初年度年会費
4～9月入会 3,500円
10～12月入会 2,500円
1～3月入会 1,500円
(翌年度からは3,000円)
プラスもみじ会費 500円



センター所在地



【事務所】天童市老野森二丁目6-3
市総合福祉センター2階

お問い合わせ

お電話・FAX でのお問い合わせ

TEL 023-654-7388

FAX 023-652-0213

メールでのお問い合わせ

tendo@sjc.ne.jp

シルバー人材センターをご利用ください!

会員が長年培った知識や技能を活かして、さまざまなお仕事をお引き受けいたします。



技術・技能分野

植木剪定・雪囲い・消毒、障子・ふすま張替など



一般作業分野

草取り・草刈り、果樹農作業、清掃作業など



管理分野

建物・スポーツ施設、駐車場管理、福祉施設宿直など



一般労働者派遣

指揮命令を伴う工場・店舗内の作業、自動車運転など



サービス分野

子育て支援、家事援助、軽度生活援助、登下校見守りなど



事務・外交分野

賞状・宛名書き、調査事務、広報紙配達など

ホームページをご覧ください。http://webc.sjc.ne.jp/tendo/

天童市シルバー人材センター

検索

題字 尾形昌幸 会員(蔵増班)

阿部 宣安 大木 健
庄司 豊子 奥山 眞一
阿部 礼子

広報委員会

■ 広報委員会では、センターのPR・普及啓発のため、多くの会員皆様の声や情報をいただき、掲載したいと思っております。今年度も執筆、取材等へのご協力を、よろしくお願いいたします。

■ 人ひとりが「事故ゼロ」を継続し、安全就業に努めましょう。

■ 先月配布された「安全だより」で「ご承知のとおり、「事故発生0件」(7月末現在)とのこと。今後とも会員一人ひとりが「事故ゼロ」を継続し、安全就業に努めましょう。

■ 27年度もスタートし数カ月過ぎましたが、事業実績・契約金額など、順調に推移しているとの事であり、先月配布された「安全だより」で「ご承知のとおり、「事故発生0件」(7月末現在)とのこと。今後とも会員一人ひとりが「事故ゼロ」を継続し、安全就業に努めましょう。

■ 猛暑厳しい日が続いている今日この頃ですが、会員の皆様には、変わりなく元気でお過ごしのことと思います。

